

田代海岸へ行こう

小瀬田小学校 五年 高田 雄暉

ぼくは小さいころから川が大好きだったの
で、夏になるとたぐさん川にお父さんと行き
ます。そしてテナがエビを取ったり食べたり
するのが楽しいです。

今回の夏休みには、水遊びがきらいなお母
さんも一緒に行ってくれました。初めに家族
で行ったところはたしろ海岸の川でした。そ
ろして少し上流のところまで泳ごうとしました。

しかし何日か前の大雨で土砂崩れがあり、す
っかり様子が変わってしまいました。水深が五十
センチぐらい下がって一番深いたきつぼもやり
やり足がつくくらいになりました。ぼく
は少し物たりなかつたけどお母さんは赤キヤ
すくて良かったそうです。でもまだ十分深か
ったので、たぎの上から飛びこみました。
でも、五メートルぐらいだからそこまで高
くはないけどお母さんは、
「このたぎの高さから私の身長もあるから

高く見えるの。

とか

「飛びこんだ後はどうすればいいの。」

なるといろいろ質問した後にはほらかがかん

で下を見て、

「よし。」

と言った立つたので、ぼくは「とかくごを

決めたかと思うと、

「え、飛びこんだ後はどうすればいいの。」

と言ったので、ぼくは思おわため息をついてし

まいました。そしてこのやりとりを二十分ぐ

らいた後、「や」と飛びこもうとしたので、

「や」とかと思っ、いろいろなことをたくさん教

えたかいたがあったと思っ、たのもつかのまお母

さんは

「ああ、やっぱり無理だあ。」

なると言っ、てかなり時間を使いました。でも

「や」と飛びこんでくれたとき、はうれしかった

です。少しは水へのやりよふ心はうち勝つた

たい。お母さんも喜んでいました。ぼくは、

人はやれば出来るんだなと思いました。この

次の週、別の川で友達らとテナがエビを取

りに行きました。テナがエビは、屋久島の中

び大きく三種類に分けられ、ミナミテナがエ

ビ、コンジリテナがエビ、コツノテナがエビ

かります。コンジリテナがエビとコツノテナ

がエビは、島の南側に生るくし、ミナミテナ

がエビは、島全体に生息しています。中でも

コンジリテナがエビは、体長四十センチをこ

える日本最大のテナがエビです。ほくたけが

取るのは、ほとんどミナミテナがエビです。

テナがエビはすあげにするととてもおいしい

エビなのでよく取りに行きます。今回は、屋

久島を出る友達ちに食べてもらい、喜ばれま

した。

暑い夏には、川遊びが一番です。気もちよ

くせ、楽しんで、最後にはごちそうも待って

いるからです。だからぼくは屋久島の川が大

好きです。このことを書き終えた後、ぼくはま

たお父さんと川に行きます。